

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

1 2 月 1 2 日 (月) 午前 1 0 時～

- 1 安 保 誠一郎 議員 (6 0 分)
- 2 成 田 哲 男 議員 (6 0 分)
- 3 吉 村 ア イ 議員 (6 0 分)
- 4 中 山 一 男 議員 (6 0 分)

1 2 月 1 3 日 (火) 午前 1 0 時～

- 5 兎 澤 祐 一 議員 (6 0 分)
- 6 小 田 修 議員 (6 0 分)
- 7 和井内 貞 光 議員 (6 0 分)
- 8 高 杉 正 美 議員 (6 0 分)

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	15:10
12 月 12 日 (月)	安保誠一郎 (60 分)	休憩 10 分 間	成田哲男 (60 分)	休 憩	吉村アイ (60 分)	休憩 10 分 間	中山一男 (60 分)

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	15:10
12 月 13 日 (火)	兎澤祐一 (60 分)	休憩 10 分 間	小田 修 (60 分)	休 憩	和井内貞光 (60 分)	休憩 10 分 間	高杉正美 (60 分)

平成28年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	1	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 ふるさと納税について				① 現在の状況について伺う。	
				② 鹿角市としてふるさと納税の意義をどのように捉え、主眼を置く返礼品のカテゴリー（範囲）をどのように考えているのか伺う。	
				③ ふるさと納税には、大きく分けて3つの効果、「財源の確保」「産業振興」「PR効果」があるが、優先順位をどのように考えているのか伺う。	
				④ 返礼品にかかる経費は全体のどれくらいか伺う。	
				⑤ PR効果や産業振興において、金額で表すことのできない効果があると思われるが、今後の取り組みの方向性について伺う。	
2 英語力の強化について				① 英語教育について、こういった方針や内容で実施してきたのか伺う。	
				② 「英語教育の在り方に関する有識者会議」が示したグローバル化に対応した英語教育改革の5つの提言の中の「学校における指導体制の充実」の項目には、小学校の学びを中学校へ円滑に接続させるため、指導計画の作成を行う合同研修などの連携促進が必要とあるが、鹿角市の小学校において、何か特色のある取り組みは行っているのか伺う。	
				③ 習得には、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの要素のバランスが必要だが、不足している項目は何と認識しているのか、理由は何か、また、その対応策は考えているのか伺う。	

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3 福祉対策について (1) 高齢者の運転免許証の自主返納について (2) 買い物弱者支援について				④ 文部科学省が行っている「英語教育実施状況調査」の平成 27 年度の中学校の調査結果は、3 級以上を取得している者・相当の英語力を有する者を合わせた割合が 36.6%だが、鹿角市では 44.7%となっており、実績においても、上昇率についても全国平均値を大きく上回っている。これをどう捉えているか伺う。	
				⑤ 国は 50%を目標値としているが、鹿角市として、この目標値を高いと見るのか低いと見るのか。また、2020 年までの達成目標値の予測は考えているのか伺う。	
				⑥ A L T (指導員)を増やす考えはあるのか。また、学校への訪問授業だけでなく、無料塾の形はとれないのか伺う。	
				① 高速道路の逆走など、高齢者ドライバーによる交通事故が多発している。このため、国では対策の一つとして、高齢者に運転免許証の自主返納を進めているが、鹿角市の取り組みについて伺う。	
				① 一般的には中山間地などの過疎地域に多いイメージがあるが、商圈人口が確保できなくなり空洞化した都市部でも深刻な問題になりつつある。鹿角市においてはどれくらいの人数がいると推定しているのか。また、今後どの程度増加すると予測しているのか伺う。 ② 地域ごとの特性や、日常生活における課題などは把握しているのか伺う。 ③ 買い物弱者の波及課題として、低栄養リスク（医療費、介護費などの増大）が深刻な問題となっているが、その対応について伺う。	

平成28年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨	
4	職員教育について			① 不祥事再発防止のため、コンプライアンス推進会議を設置し、指針をまとめる計画のようだが、不祥事発生 of 根底の要因は何であると考えているのか。また、推進会議の今後について伺う。 ② 職員の公務員としての規範意識の向上と士気高揚を図るため、適材適所・専門性・継続性を考慮した配置の考えはないのか伺う。	
5	花輪ばやしについて			① 花輪ばやしが「花輪祭の屋台行事」として、正式にユネスコ無形文化遺産登録された。鹿角を代表する観光資源として期待されるが、今後の取り組み支援について伺う。	
6	コンパクトシティについて			① 人口減少は、一朝一夕に解決できる問題ではなく、費用対効果も考慮しながら地道に取り組んでいくしかないが、鹿角市としては結婚出産を促す「自然増」と移住定住を促す「社会増」とでは、どちらに重きを置いて施策を推進していくのか伺う。 ② 人口減少下において、他地域との連携強化、交流人口の増加、物流の増大を図るための基本戦略として、国土交通省が掲げる「国土のグランドデザイン 2050」の中のコンパクトシティの形成について、どのように受け止めているのか伺う。 ③ コンパクトシティ構想への構築においては、周辺自治体との連携も考えられるが所見を伺う。 ④ 「グランドデザイン 2050」では、コンパクトシティと共に集落単位の「小さな拠点」づくりの推進も唱えている。散在する集落の福祉や交通など、日々の生活機能の集約・確保には、進めていく上で様々な課題があると思われるが、鹿角市の現状について、メリット・デメリットをあわせて伺う。 ⑤ 「小さな拠点」づくりを進め、地域全体の連携と発展を図るためには、拠点同士のネットワークが必要と思われるが、その取り組みについて伺う。	

平成28年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	交通基盤の整備について (1) 公共交通の確保について		① 自家用車の利用は9割ほどあると思うが、バスなどを利用する方からどのような意見や要望があるか伺う。 ② デマンド運行や地域主体の乗合交通の取り組み状況について伺う。		
2	住環境の整備について (1) 住宅の整備について		① 市街地の空き家の利活用の現状はどのようなになっているか伺う。 ② 今年度よりまちなか住み替え支援事業があるが、制度の内容はどのようなものか伺う。		
3	快適環境の創出について (1) 最終処分場について		① 現在の処分場はどういう状況であるか伺う。 ② 新しい処分場に対する計画はどのようなになっているか伺う。		
4	市民生活の確保について (1) 地域安全対策の充実について		① 交通安全運動やいろいろなイベントで交通指導を行う指導員の活動について伺う。 ② 指導員の確保についてどのようなになっているか伺う。		
5	ひょう被害について		① 5月末の降ひょうによる農作物の被害に対する助成をしたが、次年度への影響などを把握しているか伺う。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6	地域づくりの推進について (1) 地域づくり協議会の体制について			① 市内 4 地区の各協議会の運営状況はどのようになっているか伺う。 ② 平成 29 年度からアドバイザーの配置等計画にあるがどういう内容になるのか伺う。 ③ 組織体制は今後変わっていくのか、見通しについて伺う。	
7	移住促進関係について			① お試し体験ツアーが実施されたが、どのような方が参加したのか伺う。 ② 体験した方からどういう意見や要望が出たのか伺う。	
8	大湯環状列石整備等について (1) 出土遺物整理について (2) 維持管理について			① 平成 32 年度に国有形文化財指定に向けた準備を今年度よりする意向であったが、現在の進捗状況について伺う。 ① 草刈や薬剤散布などの事業の発注や、職員による軽微な作業等によつての管理は十分か伺う。 ② 予算を増やすことを考慮して整備等を行う必要はないか伺う。	
9	全国規模のスキー大会の開催について			① 数年連続で全国大会が開催されることになるが、今後開催される大会の実行委員会の構成などについて伺う。	

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 「花輪祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録決定について					
(1) 文化遺産として今後伝統をどう継承していくのか				① 少子高齢化が進む中、祭り関係者と鹿角市が一体となって文化遺産として伝統を継承することになるが、市として今後強化していく取り組みについて伺う。	
(2) 広域観光の取り組みについて				① 秋田県では、仙北市の「角館祭りのやま行事」、秋田市の「土崎神明社祭の曳山行事」、隣の青森県では、八戸市の「八戸三社大祭の山車行事」が登録された。国では、東京五輪・パラリンピックが開かれる 2020 年に訪日客を年間 4,000 万人に増やすため、全国にある有形・無形の文化財を観光資源として生かす考えである。今回登録される祭りを国際的に P R し、他の名所と組み合わせ広域周遊観光の促進を目指している。県内はもとより、八戸市とも文化遺産のつながりで、広域観光の取り組みを早急に進めるべきだと思うが、市の取り組みについて伺う。	
(3) 世界遺産のまちづくりについて				① 鹿角市は、大日堂舞楽に続きユネスコ無形文化遺産が 2 件となった。今後大湯環状列石の世界遺産登録を目指していることから、「世界遺産」のまちづくりの取り組みを強化すべきと思うが、市の考えを伺う。	
2 民俗資料室の活用について					
(1) 民俗資料室改築後の管理体制について				① 民俗資料室の改修、改築後の管理体制は直営としているが、その後の具体的な管理活用計画を伺う。 ② 市内には、鹿角の伝統文化を継承する活動を続けている団体がある。民俗資料室の特性を鑑みると、将来的には関連する団体に管理を委託する考えはないか伺う。	
(2) まちなか観光と民俗資料室の活用について				① 花輪の商店街の 1 キロメートル四方に国の登録文化財の「旧関善酒店」、明治の建物「小田島家」、そして民俗資料室がある。まちなか観光の拠点としての、改築後の活用計画を伺う。	

平成28年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	「男女共同参画」推進について (1)「イクボス」の啓発活動について			① 部下の育児に理解ある上司（ボス）を増やし、仕事と子育ての両立を促そうという「イクボス」運動が全国に広がっている。「イクメン」は既にメジャーになっているが、今後は「イクボス」の啓発活動に取り組む計画はないか伺う。	
	(2)「イクボス」宣言について			① 県内では6月に男鹿市が、9月には湯沢市が「イクボス宣言」をした。鹿角市も「イクボス企業同盟」に加盟している、北都銀行等の民間会社と連携して、フォーラムやワークショップを行い、「イクボス宣言」ができないか伺う。	
4	敬老会について (1)今年度の敬老会の実施計画について			① 6月議会での一般質問で、2年前からコモッセでの開催の計画を立てていたとの答弁であったが、昨年の12月議会の一般質問で「例年どおりの開催」との答弁であった。どのような経緯で会場や飲食等についての変更を決めたのか伺う。	
	(2)変更後の総括について			① 変更後の総括として、参加者の前年との比較について、花輪地区を2日間に分けての開催について、飲食をやめ記念品としたことについて、「概ね好評」とのことだが、その意見の集約方法について、体の不自由な方への配慮は十分であったかについて、の5点について伺う。	
5	来年度のクマ被害対策について			① 市内外に、広くクマの生態を周知徹底するための、来年度の取り組み計画と予算設定について伺う。 ② 鹿角市猟友会員の減少が進み、関係者は「有害駆除の担い手がいなくなる」と危機感を募らせている。かつては、狩猟者の多くは農家であったが、今は会社勤めの方が大半である。報酬の設定、会社への配慮等は十分であるか伺う。	

平成 28 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	中山 一男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	人口の将来展望について		① 人口ビジョンによる人口の将来展望の基本的視点をどのように捉えているのか。また、具体的にどのような事務・事業を実施していくのか伺う。		
2	総合戦略の 1 年目の実績と評価について		① 総合戦略は平成 28 年度から 32 年度までの第 6 次鹿角市総合計画・後期基本計画に包含されて、8 つの重点プロジェクトとして展開されている。総合戦略は 27 年度から事業展開となっているが、1 年目を終えての実績や課題をどのように捉えているのか。また政策アドバイザー等の評価について伺う。		
3	人口減抑制に取り組む方向性について		① 人口減抑制に取り組む方向性として、人口の維持・増加を目指すのか、人口の減少速度を落とすことを目指すのか、何もしないで放置・無視するのか、本市の方向性を伺う。		
4	人口をふやす取り組みについて		① 出生数が年々減少しているのに、合計特殊出生率が高いという現象をどのように捉えているのか伺う。		
5	結婚しやすい環境づくりについて		① 本市の「男女未婚者」の推移をみると、20 歳～49 歳までの総数は平成 17 年 3,728 人、平成 22 年 3,545 人、平成 27 年 3,297 人と減少傾向になっているが、男女別に見た場合や年齢別に見た場合など、どのように分析しているのか伺う。		
6	死亡者数の減少について		① 人口の「自然増」を図るうえで、死亡者数を減らす取り組みも重要である。高齢者が健康でいきいきと生活できる取り組みのほかに、交通事故などの不慮の事故、悪性新生物（がん）、自殺等による死亡者を少なくすることも必要と考えるが、高齢者への健康づくりに取り組んでいる事業について伺う。		
7	社会増について		① 総合戦略に掲げる、進学や就職のため一度転出した若い世代が戻ってくる環境整備を図るための具体的な施策は何か伺う。		

平成 28 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	中山 一男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
8	緊急流入路の整備について		① 計画では 2018 年度までの運用開始を目指すとしているが、設置場所や工事費用等の負担など、具体的な計画概要について伺う。		
9	一般質問事項等の進捗状況等について				
	(1) 福士川河川改修事業について		① 県の事業であるが、現在の残る上流部 995 メートルの「未改修区間」の進捗状況と、今後の整備計画をどのように把握しているか伺う。		
	(2) 福士川沿いの市道改良について		① 未改修区間が着手されていないが、進捗状況と整備計画はどのようにになっているのかを伺う。		
	(3) 病児保育について		① 施設の定員増ははかられているのか。また、4 月から 11 月までの施設の利用状況を伺う。		
	(4) 保育士の確保について		① 年度途中の「市内認可保育園入園児童数の状況」、「保育士の産休・育休者の状況」、「年度途中の待機児童の状況」と、これらの状況に対する保育士は確保されているのか伺う。		
	(5) 花輪大堰水路の整備について		① これも県の事業であるが、現在の進捗状況と今後の整備計画をどのように把握しているのか伺う。		
	(6) 水門の管理と整備について		① 管理者が不明な水門や取水施設の調査結果と、今後の施設の整備予定について伺う。		
	(7) 大学入学費等への支援について		① 平成 28 年 3 月以降検討されているのか。また、国では返還不要の「給付金型奨学金制度」を 2018 年度から本格的に導入することを決めているが、本市でも検討するのか伺う。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 災害発生時における避難所運営について				① 内閣府が公表している「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取組方針」には、「市町村の避難所関係職員以外の者でも避難所を立ち上げることができるよう分かりやすい手引き（マニュアル）の整備が必要である」となっているが、鹿角市ではどのようなになっているのか伺う。 ② 「避難所運営ガイドライン」には、「避難所生活は住民が主体となって行うべきもの」となっているが、災害発生時の避難所運営の流れはどのようなになっているのか伺う。 ③ 「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取組方針」には、「地域住民も参加する訓練を実施すること」となっているが、避難所運営マニュアルに基づく、避難所運営の実施状況について伺う。 ④ 避難所運営等の基本方針によると、「被災者のニーズの把握や他の地方公共団体等からの応援及びボランティア等の応援団体の派遣調整等をする「避難所支援班」を組織し」とあるが、鹿角市では避難所支援班はどのように組織され、災害時にはどのような動きになるのか伺う。 ⑤ 台風 10 号で被災した岩泉町では、避難所運営マニュアルが整備されていたにもかかわらず、役場職員が初動期の避難所運営に携わざるを得なかった。このことは、円滑な災害対応に影響を及ぼしかねないことであり、鹿角市においても、マニュアルにある災害発生時の職員の動きを再点検し、住民の安全確保を期すべきと考えるがいかがか。		
2 若者の政策形成過程への参画について				① 18 歳選挙権が実現した今夏の参院選を受け、若者の政治的関心を高める動きに注目が集まっている。少子高齢化が急速に進む日本で若者の政治離れが進行すれば、若者の政治的影響力は低下し、社会の沈滞化に繋がる。そこで、審議会等に若者の登用など考えられないか伺う。 ② 鹿角市で「鹿角市若者議会」を設置して、政策等に若者が積極的に参画できるようにしてはどうかと考えるがいかがか。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3	人口減少時代の公共施設マネジメントについて			① 人口減少に伴う、公共施設の今後のあり方について伺う。 ② インフラの更新についてどのような対策を講じていくのか伺う。 ③ 今後の公共施設等の整備にあたっては、住民の意見・ニーズを十分に反映したシステム構築が重要と考えるがいかがか。 ④ 既存施設等に関しても、設置の意義から検討していくことも必要と考えるがいかがか。 ⑤ 今後の公共施設のあり方を考えると、一元管理を踏まえた公共マネジメントの考え方を導入していく必要があると考えるがいかがか。	
4	子供子育て支援について			① 今、日本では子供の貧困率が増加の傾向にあり、貧困率は 16%と先進国でも深刻である。特に「世代間の貧困連鎖」が重要な課題になっている。あらゆる面からの支援が必要と考えるがいかがか。 ② 文部科学省の調査によると、全国の小中校生などが認知した 2015 年度のいじめ件数は、22 万 4,540 件と過去最多を記録している。いじめが重大な人権侵害であることは言うまでもない。被害者の心に大きな傷を残し、場合によっては自殺など取り返しのつかない事態をも引き起こしかねない考える。認識の共有が不可欠と考えるがいかがか。 ③ 子供たちが命の大切さへの関心を高めてもらう取り組みが広がってきている。「ジュニア救命士講習」を開催して、子供たちに命の大切さを認識してもらう取り組みである。鹿角市での現状はどのようなになっているのか、また、今後行うことはできないか伺う。	

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5 働き方改革について			① 若者や女性の活躍を後押しできる、能力開発の機会を拡大する取り組みができないか伺う。 ② 子育てや介護などで、仕事上のキャリアが断絶してしまわないような支援ができないか伺う。 ③ 高齢者の雇用促進への環境整備を進めるべきと考えるがいかがか。 ④ 高齢者の再就職を支援する「生涯現役支援窓口」の設置や、シルバー人材センターの機能強化について伺う。		

平成28年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	小田 修	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	総合計画及び地方創生総合戦略について		① 農業経営体の強化をどう進めるのか、また「鹿角マルシェ」の具体化について伺う。 ② 「かづの観光物産公社」の体制強化をどう行うのか伺う。 ③ 今年度の政策課題であるC C R Cにどう取り組むのか伺う。 ④ 移住コンシェルジェの任期満了後の対応について伺う。 ⑤ 子育て支援策の高いレベルを目指すため、ネウボラ制度に取り組んではいかがか。		
2	行政改革について		① 指定管理制度導入で大幅な人員削減をおこなってきたが、指定管理施設の職員の待遇をどう保障しているのか伺う。 ② 第九次行革大綱で支所機能の統合を掲げているが、その内容について伺う。また市民センター職員は市役所職員と同等の職務をこなしている。相応の待遇改善をすべきと考えるがいかがか。		
3	大湯温泉地区観光拠点施設整備について		① 十和田湖などの観光客を対象にするためには、伝説の館など、魅力ある施設も検討してはいかがか。 ② 道の駅指定について伺う。		
4	ストーンサークル館問題について		① 不適切な積算の改善策について伺う。 ② ストーンサークルの観光面での取り組みについて伺う。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	小田 修	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5	地域防災計画について			① 事業継続計画（BCP）への取り組みについて伺う。	
6	市内林業の活性化について			① 森林資源の活用のための国際認証取得への取り組みについて伺う。	
7	県内銀行、大学などとの連携について			① 県内銀行や大学は地域サポート体制を強化している。今後これら団体との連携の可能性について伺う。	
8	鹿角市の施策の執行について			① 様々な施策の遂行にあたり、農業・観光等の各事業者に対し、市として、さらに踏み込んだ対応を期待するがいかがか。また、団体の自助努力とのかかわりをどう考えているのか伺う。 ② 職員の専門性確保について見解を伺う。 ③ 観光や農業の施策に市役所職員が果たすべき役割について伺う。	

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位		7	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項					質 問 要 旨		
1 国立公園満喫プロジェクト事業への取り組みについて					① 国が推進する国立公園満喫プロジェクト事業について、全国 8 つの国立公園とともに、十和田八幡平国立公園も指定されたが、この事業はいかなる事業なのか。また、この事業に本市は何をどのように取り組もうとしているのか伺う。		
2 国の「温泉資源を活用した地域活性化・魅力向上事業」について					① 国の取り組みの一つに、温泉資源を活用した地域活性化・魅力向上事業が打ち出されたが、豊富な温泉資源に恵まれている本市にとって、何かしらチャンスがあるのではないかとと思われる。事業の内容と本市の取り組みについて伺う。 ② 本事業、あるいは、本事業以外でも、大湯温泉共同浴場のリニューアルは是非検討すべきと思うがいかがか。		
3 本市の発展のため、毛馬内地域の振興策が喫緊の課題であり、大胆な振興策が必要であることについて					① 本市の均衡ある発展と、活力ある経済の推進を図るためには、毛馬内地域の振興策が喫緊の課題である。先人、先達が命を賭して守り育ててきたこの地域に、再び光を当てる大胆な取り組みが必要と思われる。毛馬内地域の状況をどのように感じているのか、施策はあるのか伺う。		
4 新規学卒者の就職内定状況について					① 来春 3 月に卒業する鹿角管内 3 高校の卒業生が 302 名、そのうち県内就職希望者が 67 人で、内定率は 80.6%との行政報告があったが、県内就職希望者のうち、鹿角市への就職希望者は何名なのか、男女別、職種等その内容について伺う。また、県内の就職希望者以外の卒業予定者の進路等について把握できていたら、その内容について伺う。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5	結婚支援制度の充実について		① 男性と女性が素敵な相手と巡り合い結婚し、幸せな家庭を持ちたいと願うのは国民が等しく願うことであろうと思う。本市でもいろいろな取り組みにより成果を上げているところであるが、以前のようなお世話する方や仲人制度等のさらなる制度の充実を望む声がある。本市の結婚支援状況、今後考えている事業等について伺う。		
6	十和田湖火山 24 時間監視体制について		① 気象庁の火山噴火予知連絡会は、十和田湖の火山活動変化を 24 時間観測すると発表し、今月、12 月 1 日から火山活動の監視体制に入ったということであるが、地元の住民としては穏やかではない状況だと思う。この 24 時間の監視体制ということはどういうことなのか。また、市としてはどんな体制をとるのか。住民としてはこのことをどのように捉えればいいのか、安全安心の生活を守るためにも市の体制について伺う。		

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	高杉 正美	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	かづの産業振興と道路行政について			① 花輪まちなかの県道（十二所花輪大湯線）の近代化事業が実施された。それに伴いまちはどのように変化したのか。特に産業振興について伺う。その後現在の国道 282 号バイパスが工事施工されたが、交通量の変化と産業振興の推移について伺う。 ② 錦木バイパス完成に伴い、下川原以南の国道 282 号構想を、実現に向けて熱意ある折衝を秋田県とした結果について市長の見解を伺う。仮に国道 282 号バイパス構想を断念したのであれば、産業振興計画を見直すべきと思うが市長の見解を伺う。 ③ 先の議会報告会において、かづの厚生病院東側の市道について久保田まで直進するように要望された。今後の計画について伺う。 ④ 世紀越えトンネル（国道 103 号バイパス）の事業認定について、関係県市町村が夢をかなえるために一丸となるべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
2	社会福祉行政について			① 2017 年高齢者の医療費等について国で審査しているところだが、75 歳以上の保険料アップが見込まれている。鹿角市はどうなるか伺う。 ② 全国的に 65 歳以上のドライバーの事故が急増している。また、75 歳以上の認知機能問題が増えている。鹿角市の対応について伺う。 ③ 自動車運転免許証の返納制度があるが、返納者に対してどのような対応をしていくのか伺う。 ④ 鳥インフルエンザ、ノロウイルス等の防疫対策について伺う。	

平成 2 8 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	高杉 正美	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 教育行政について			① 人口減少社会での女性活躍の時代が到来した。子育て、家事、仕事、それは女性にとって大変なことだと思うが、男女平等の精神から子供たちの力強い生き方についての教育について伺う。 ② 「花輪祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。誠におめでたいことである。この行事を代々継承していくために、そして鹿角地域の文化を継承していくために、子供たちにどのような教育をしていくのかを伺う。 ③ 以前の一般質問でハーフマラソンの開催を提案したが、どのようなスタイルで開催するのか伺う。		